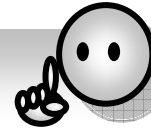


# チーム学習と問題解決



内容説明

## チーム学習の原則 - これまでの講座や演習とは違う！ -

この講座で試みようとしているチーム学習では、お互いに協力しながら知識を創造することを目指しています。これまでの講座や演習とは異なり、自分から積極的に学習に参加することが大切です。情報社会は、さまざまな問題が複雑に絡み合っているため、一人だけで解決できる課題はごく限られています。

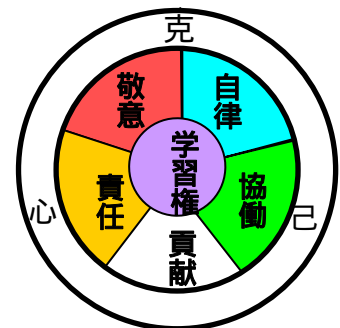
講座のなかでは、コンピュータやインターネットを活用しますが、これらの情報機器は最終的な答えを教えてくれないし、問題を解決してくれません。しかし、われわれが疑問を抱いたり、何かを知りたいと思ったりしたときに、ネットワークを活用すると知ることができます。さらにお互いがネットワークを通じて接続されているので、協力して学習することもできます。これを協調学習(collaborative learning)と呼んでおり、さまざまな分野で試みられている学習方法です。さらに情報社会では、大規模な仕事であっても、各人が机上や家庭に端末をもって仕事を分担し、インターネットを通じて統合されることもまれではありません。

チーム学習では、メンバーのすべてがひとしく学習権をもっていることを前提に、つぎの**5つの原則(ACCRR)**を参考にして進めます。ここで目指しているのは、仲よしグループによるグループ学習ではなく、それぞれが担当するチームでの役割をよく認識して、各人が自分の責任を果たすことを前提として進められる情報社会での協調学習です。このようなチーム学習を実現するための基本的なルールを習得することです。

**課題 2-1** 以下にあげられているチーム学習の規範(約束事)を参考にして、自分たちのチームのロゴを作ろう。下の規範(自律, 協働, 貢献, 責任, 敬意)の欄に1部修正して別の言葉を当てはめてもいいです。3つくらいの規範を考えて新しく自分たちのロゴデザインを作っても構いません。来週までに個人で考えてくること。(来週チームの案をまとめます)

### 1. 自律(Autonomy)

自分で学習計画を立てたり、学習成果を評価したりするなど、学習することについて自分で責任をもつこと。これは社会人が仕事をするときの基本的な能力です。日常生活の中で自分の関心のある情報にたえず関心もち、図書館やコンピュータに準備された学習資料を積極的に活用しよう。



## 2. 協働(Collaboration)

学習するとき自分ひとりでは広がりも深みもなく、学んだことを実感することもできません。自分の学んだことがチームとして、あるいは社会の中で活用されて始めてその意義が見出されます。自分ひとりだけでなく、お互いに協力しあって学習することが効果的です。これまでの勉強は他人よりも優れることが目標でしたが、ここでは共に学び共に働くことが大切であり、ネットワーク社会における基本的な能力です。

## 3. 貢献(Contribution)

これまでの学習では、自己修養を重視してきました。自分の教養を高めることが人間としての成長であると考えられてきたのです。そのような教養も大切ですが、これからの情報社会あるいは変動社会では、社会が健全な方向で発展すること、社会の問題を解決するために貢献することが大切です。したがって、他人が学習することを積極的に支援したり、協力したりしましょう。チームで協働して開発したり制作したりしますが、チームのために貢献することが自分の能力開発につながります。

## 4. 責任(Responsibility)

学習は相互に関連しあって進行しますから、自分が分担していることには責任をもって対応することが大切です。ひとりの無責任がチーム全体に迷惑を及ぼし、学習体制を破壊することもあります。遅刻しないこと、分担したことは責任をもって実行すること、欠席するときは必ず他のメンバーに連絡すること。これらは自立した社会人としての最低限のマナーです。

## 5. 尊敬(Respect)

チームで学習するときは、他の人のさまざまな人権にもかかわってきます。他人の著作権、プライバシーなどはもちろんのこと、自分の学習は他の人のさまざまな協力や貢献に支えられているので、他の学習者に尊敬の気持ちをもつことが大切です。

## 克己心(Self-control)

以上の5つの規範を守ることはそれほどやさしいことではありません。自分で計画を立てていても、今夜は眠いから明日の朝にしようとか、友達と電話で話しをしたいから後回しにしようとか、どうもあの人は気が合わないから協力するのに気が進まないとか、自分が自分に課した目標をついつい先延ばしにしたり変更したりしがちです。このような弱い自分に打ち克つことが大切です。スポーツ選手は克己心によって成長しているのです。